

活動をとおして語彙や表現を習得しよう

～ 由紀のイギリス旅行 SUNSHINE (1年) PROGRAM 6 ～ (習得の時間)

指導内容

- ▼指導内容 外国語活動で慣れ親しんだスリーヒントクイズやキーワードゲームなど体験的な活動により重要表現をリピートさせる。
- ▼つきたい力 ピクチャーカードで示された内容を、本単元で使用される語彙や表現を用いて述べることができる。

技能と評価

評価する主な技能	<input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと
評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現の能力
	<input type="checkbox"/> 外国語理解の能力
評価する主な方法	<input checked="" type="checkbox"/> 言語や文化についての知識・理解
	<input checked="" type="checkbox"/> ペーパーテスト評価 … 定期テスト等
	<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス評価 … スピーチ、面談等
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ評価 … レポート、絵日記等

その他

◆「習得の時間」について: 「活用の時間」を意識したコミュニケーション活動など

- ・ ピクチャーディスクリプション(絵を見て描かれている内容を説明する)を取り入れたクイズを行い、「活用の時間」において英語で友達を紹介するための表現の定着を図ることができる。
- ・ 英文を文頭から音読する習慣をつけるための一つ的手段として、リードアンドルックアップを取り入れ、意味のかたまりを意識しながら英文を読む技能を身につけさせる。

◆外国語活動との連携について

表現の関連: Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends.

オリジナルの物語を作ろう

内容の関連: 自分の興味あることを英語で表現する など



一般動詞：三単現 (SUNSHINE PROGRAM6 由紀のイギリス旅行)

1. 単元の目標

1. 英語教育支援員 (ALT) との面談等において間違いを恐れずに話す。
2. 主語が三人称単数で、現在時制における一般動詞の用法に注意しながらまとまりのある内容を話す。
3. 主語が三人称単数で、現在時制における一般動詞の用法を理解する。
4. 言語活動に必要なイギリスと日本の文化的背景について理解する。

2. 単元について(教材観・指導観)

本単元では、由紀が、イギリスへホームステイをした時に、ホストファミリーのジュディーと、その友だちのマットの三人でロンドンを観光するという内容である。登場人物が三人おり、イギリスの観光地を紹介する場面で構成されているため、相手に第三者を紹介する表現が多く用いられている。

したがって、主語が三人称単数で現在時制の場合の一般動詞の用法を正しく理解し、友だちについてまとまりのある内容を説明できる力を養う。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
・英語教育支援員との面談等において間違いを恐れずに話している。	・主語が三人称単数で、現在時制における一般動詞の用法に注意しながら、まとまりのある内容を話すことができる。	/	・主語が三人称単数で、現在時制における一般動詞の用法を理解している。 ・言語活動に必要なイギリスと日本の文化的背景について理解している。

4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1	・主語が三人称単数で現在時制の場合の肯定文の構造を理解し、使えるようにする。	My sister plays <i>shogi</i> .	・教科書を通して、主語が三人称単数で、現在時制における肯定文の構造を理解する。 ・肯定文が使えるようにパターン練習をする。	【ペーパーテスト】 ・肯定文の構造を理解しているか。
2 本時	・本文の内容を理解しイギリス文化に関心をもつ。 ・主語が三人称単数で、現在時制における一般動詞の疑問文と否定文の構造を理解し、使えるようにする。	Does Kenji live in London? Yes, he does. No, he doesn't. He doesn't live there.	・教科書本文の意味を理解する。 ・教科書本文をセンテンスリーディングする。 ・教科書を通して、主語が三人称単数で、現在時制における一般動詞の疑問文、否定文の構造を理解する。 ・疑問文、否定文をできるようにパターン練習をする。	【活動の観察】 ・教科書本文の内容やイギリスの文化を理解しているか。 【ペーパーテスト】 ・疑問文、否定文の構造を理解しているか。

3	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解し、イギリスと日本文化のつながりに気付く。 	<p>He doesn't work alone. He's clever, right? Does that name come from Conan Doyle?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文の意味を理解する。 教科書本文をセンテンスリーディングする。 教科書本文の内容について、応答練習をする。 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文構造に注意しながらまとまりのある内容を話すことができるか。 <p>【ペーパーテスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文構造を理解しているか。
4	<ul style="list-style-type: none"> 第三者にクラスメイト（ペア活動のパートナー）を紹介する。 		<ul style="list-style-type: none"> インタビューテスト 英語教育支援員（ALT）にクラスメイト（ペア活動のパートナー）を紹介する。 	<p>【インタビューテスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育支援員（ALT）との面談等において間違いを恐れずに話しているか。

5. 本時（活用の時間）について

(1) 本時の目標

- 本文を読み、イギリスと日本の文化的背景について理解する。
- 主語が三人称単数で現在時制の場合の疑問文と否定文の用法を理解する。

(2) 本時の評価基準

- 本文を読み、イギリスと日本の文化的背景について理解している。
- 主語が三人称単数で現在時制の場合の疑問文と否定文の用法を理解している。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
導入	<p>1. スリーヒントクイズをする。 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員（JTE）のヒントを聞き、答える。 クラスメイトのヒントを聞き、答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スリーヒントクイズの説明をする。 ・2種類のスリーヒントクイズをする。 <p><u>①JTE-Students の場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏向きの絵カードを提示する。 ・絵カードに対して3つのヒントを出す。 ・生徒はペアになり、お互いの答えを言う。 ・正解を発表する。 <p><u>②Students-Students の場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏向きの絵カードを提示する。 ・生徒の一人だけに絵カードを見せ、その生徒は見せられたカードについて、3つのヒントを出す。 ・挙手をして、自分の考える答えを言う。 ・正解を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで使用する絵カードは、人物に限定し、三人称単数を使い説明させるようにする。

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
展 開	<p>2. キーワードゲームをする。(10分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(1) 新出単語の中で、キーワードを教員（JTE）が決める。 (2) 生徒はペアになり、二人の間に消しゴムをひとつ置く。 (3) 教員（JTE）が新出単語を発音する。生徒は繰り返して発音する。 (4) 教員（JTE）が、キーワードを発音した場合、生徒は、繰り返しての発音を止め、ペアの間に置かれている消しゴムを取り合う。消しゴムを取った方が勝ちとなる。</p> </div>	<p>○ キーワードゲームの説明をする。</p>	<p>・ キーワードゲーム「英語ノート2」の Lesson 3 や「Hi, friends! 1」の Lesson 7 指導書で既習の活動です。</p>
	<p>・ フラッシュカードに続いて音読をする。</p> <p>・ キーワードゲームをする。</p>	<p>・ フラッシュカードを使い、PROGRAM 6 の新出単語を音読させる。</p> <p>・ キーワードゲームをさせる。</p>	<p>・ キーワードは、同音で始まる単語にする。</p>
	<p>3. 三人称単数形(疑問文と否定文)についてパターン練習をする。(5分)</p>	<p>○ 三人称単数形の疑問文と否定文の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スリーヒントクイズで活用したピクチャーカードをひとりの生徒にだけ見せる。 ・ ピクチャーカードを見た生徒に、教員（JTE）が質問をする。 ・ ピクチャーカードを見ていない生徒は、誰の話であるかを考えて該当する人物などを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>JTE: Do they play tennis? Student: No. She plays soccer. JTE: OK. She does not play tennis. She plays soccer. *この活動を繰り返し行い、導入とする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三人称単数形の使用場面を例示した後に、文構造の説明をさせる。 ・ ピクチャーカードを用いてリピーティング練習させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>JTE: Does Tom play soccer? Students: Does Tom play soccer? JTE: Yes, he does. No, he doesn't. Students: Yes, he does. No, he doesn't. *この活動を繰り返し行い、練習する。</p> </div>	<p>・ リピーティング練習が進めば、ピクチャーカードを見て教科担当者（JTE）と応答練習もする。</p>
	<p>・ ピクチャーカードを見て科担当者（JTE）とリピーティング練習をする。</p>		

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
展 開	<p>4. 教科書本文をセンテンスリーディングする。(15分)</p> <p>(1)教科書を見ながらペアで音読練習をする。</p> <p>(2)教科書をできるだけ見ないでリードアンドルックアップをする。</p> <p>(3)ピクチャーカードだけを見ながら、その場面の本文を音読する。</p>	<p>○教科書本文を一文ずつ、ポーズを入れないで音読させる。(センテンスリーディング)</p> <p>・教科書を見て、本文の音読練習をさせる。</p> <p>・リードアンドルックアップをさせる。</p> <p>・教科担当者(JTE)は、教科書の流れに沿ってピクチャーカードを見せる。</p> <p>・ピクチャーカードの場面で使用されていたセリフをできるだけ教科書を見ないで、音読する。</p>	
ま と め	<p>5. まとめをする。(5分)</p> <p>・家庭学習の内容を確認する。</p>	<p>・教科書の音読 センテンスリーディングを10回</p> <p>・教科書の筆写 センテンスを意識しながら筆写すること。</p>	

